



にこにこ通信第187号

2010/10/20

〒933-0804 高岡市問屋町 40 (有) 沖商店

沖 昌弘

TEL 0766-25-2525(にっこりにこにこ)

E-mail

FAX 0766-26-5500(ふるへごーごー)

oki2525@oki-shouten.com

謹啓 毎度格別のご最頁に預り厚くお礼申し上げます。

本通信は、皆様のご意見を頂いて私の人生修行の糧といたしたたく、ひと月に一度お届けしています。どうぞ、忌憚の無いご意見をお寄せください。ようようお願い申し上げます。 謹白。

一 イチロー、白鵬、伊達公子

世界中の不況。日本政府の無能ぶり。どちらを向いても閉息感が充満しています。そんな中で私にとって、少し心が和むのは、イチロー、白鵬、伊達公子です。

ご存知の通りイチローは、米大リーグで10年間連続200本安打の大記録を達成し、来年は更なる記録更新に向かつて努力しています。しかも日本での活躍を含めるとその偉大さは計り知れません。

白鵬は双葉山のもつ69連勝の記録を破らんものと精進しています。

伊達公子は一旦引退したものの、不死鳥の如くよみがえり、40歳と言う年齢をもとせす素晴らしい活躍をしています。

彼等三人に共通しているものは、人並みはずれたプロ意識とそれに基づく精進努力でしょう。プロとして素晴らしい技を見せるため、ただそれだけの

ために彼らは己を鍛えるのです。

私の知人で70歳にならんとするアマチュアゴルファーがいます。これが歳の割にはよく飛ばすのです。聞くところによれば、毎日、スポーツジムに通い、筋トレに励んでいるそうです。私は彼に言いました。「あなた、毎日ジムに通って鍛えているそうですね」と。

彼は答えました。「なんでこんなに苦しい目に遭わなければならぬのかと思いうくらい鍛えていますよ」。私は感心すると言うより尊敬の念が湧いてきました。アマチュアゴルフと言えども、こんな一途に取り組んでいる人もいますのです。私のように、ゴルフの練習に行くより酒を呑みたいと努力もしないで、上手くなりたいとは虫がよすぎますね。アマチュアでさえこれだけ情熱を燃やすのですからプロの思いは計り知れないと思います。

イチロー、白鵬、伊達公子の素晴らしい成果は、彼らが特別その資質に恵まれているからではなく、他人には計り知れない彼らの執念と努力の賜物であると私は思います。

二 尖閣諸島問題と日本政界

本通信は毎月20日に発行していますので、先月号ではまだ中国が日本に対して「嫌がらせ」をする前でした。

「頑張り日本の腰抜け外交」と題して中国人との交渉の心得と、日本の現政権の危うさを記しましたが、私の心配した通りの結果になりました。途中で弱腰になるなら、何故、船長の拘置期限を延ばしたのか。何故、表沙汰にしないで交渉しなかったか。

醜態を曝し、全く情ない。中国人はおろか世界中の人々から笑いものになり、馬鹿にされました。それなのに仙谷官房長官にいたっては「弱腰ではなく柳腰」などとふざけたことを国会で答弁すれば、野党も野党、なんの反論も無く引き下がっています。猿芝居より拙くて見てはおれません。国民の代表として恥ずかしくは無いか。「この税金泥棒ども奴」と言いたいのです。

先日も会計検査院が、公邸地下室に8000本近い高級ワインを貯蔵したり、年間契約で借りたホテルを1年間で約50日しか使わないなど常識離れた外務省の無駄遣いぶりを公表していました。まさに役人天国日本です。そしてそんな役人に頼らなければやって行けないのに口先だけで「脱官僚、政治家主導」などと囁く凶々しさ。

念の為、「柳腰」とは柳のように柔よく剛を制す意味で使ったのでしようが、本来の意味は「女の細くしなやかな腰」のことを言う。